

学校関係者評価委員会 報告書

- 1、開催日 平成25年 6月 5日（水）
- 2、開催場所 幼稚園多目的室
- 3、出席者 評価委員5名（すべて保護者）
園長 教頭 園長代理

□概評

四條啜学園の建学の精神・教育方針・教育理念にそって、幼稚園では幼稚園教育の基本である人格形成の基礎を培うにあたり、創造力と豊かな感性を育むために大切な幼児期にしかできない事を考えた教育目的・教育目標をもって保育を実践していると高く評価できる。今後もこの姿勢を堅持して取り組んでくださる事を望む。

一人ひとりの個性を大切に受け止め有意義な体験（園内・園外）ができる機会を増やし、安定した情緒の下で自己を十分に発揮して、園児の主体的な活動を積極的に促し園生活が展開されていると感じる。

◇幼稚園運営については、教育目的・教育目標にそって教職員が熱心に指導している事が理解できる。子どもの気持ちや保護者の気持ちを大切にしている教職員の努力に感謝したい。保護者にとって教職員は相談しやすく、子どもは教職員に親しみ慕っていることに繋がっていると思われる。しかし、中には少数意見であるが声をかけにくかったり質問に対してきちんと応えられなかったりする教職員もいるので、全教職員が共通の意識をもって対応できるよう一層連携を深めて頂きたい。

◇保育内容については、自己評価の通りである。心身共に調和のとれた内容を日々研究している熱心な教職員の取り組みが大変評価されたと感じる。しかし、家庭中心の考えの保護者との間に、幼稚園生活の中で子どもに育ててほしい事や自己評価においての相違が見られるので、集団生活で育つ園児の成果を保護者に知らせ理解を促していただきたい。その成果が一層向上するよう努力を期待したい。

◇園児の指導については、特に基本的な生活習慣の形成を図り重視しながら熱心に指導されているものと評価する。家庭での生活経験に配慮し自立心を育て、人とかかわりから思いやりの心も育てていると感じる。幼稚園でできている事が家庭でもできているかについては、家庭（保護者）とともに丁寧に継続して実践していただきたい。また、公共の場でのマナーは親子での意識も高まるよう今後も園だよりなどで保護者に知らせていただきたい。

◇教職員の研修・資質向上については、園内研修会を行う事で保護者の協力もあってできる事なのでその旨も含んでいただきたい。しかし、子ども一人ひとりの特性を適格に把握した指導については期待が高く引き続きその取り組みに期待したい。

◇まとめ

全体的に子ども達の成長している姿から喜びを感じている保護者が多いと思う。教職員の手厚い対応によって保護者の評価に変動があるので、今後もより良い幼稚園を目指す教職員全員であってほしいと期待し一層の努力を高めてほしい。